

大阪市内小学校学習指導略案

1. 学年 5、6年生
2. 教材名 「かいくんのさがしもの」
3. 主題名（内容項目） 自然愛護
4. 主題設定の理由

（1）ねらいとする価値について

この段階においては、自然の仕組みについての理解が深まり、自然環境に関わる課題についても理解できるようになる。こうした理解の上に立って、自然環境を保護するとともに、自主的、積極的に環境を保全する態度を育てることが求められる。また、人間の力が及ばない自然の偉大さと驚異についてもしっかりと感じ取り、謙虚に自然に学ぶ態度を身に付ける必要がある。

指導に当たっては、自然環境と人間との関わりから、人間の生活を豊かにすることを優先し、十分な思慮や節度を欠いて自然と接してきたことに気付かせたい。その上で、人間も自然の中で生かされていることを自分の体験を基に考えられるようにすることが必要である。人間と自然や動植物との共存の在り方を積極的に考え、自分にできる範囲で自然環境を大切にし、持続可能な社会の実現に努めようとする態度を育むことが望まれる。

（2）児童の実態

自然愛護に関することを自分事として捉えにくい

5. 本時のねらい

物語の登場人物に感情移入することにより、登場人物の気持ちを想像し、登場人物が物語の中で体験していることを他人事ではなく、自分の周りの友達と接している時と似たような感想や気持ちを感じてもらいたい。物語で登場人物が持っていた目的を児童が代わりに果たそうとする事により、登場人物が持ち始めていた自然愛護の気持ちを自分と照らし合わせて考えられるようになりたい。

6. 本時の展開

	学習活動	主な展開、発問など	指導上の留意点
導入	自己紹介 (3分)	演劇講師「心の中で大きな声で挨拶をしよう・・・ありがとう、もうちょっと大きな声で心の中であいさつしてもらえるかな？・・・みんな、ありがとう。だけど先生だけあいさつしてくれませんでしたね！昨日食べたカレーのことずっと考えてたでしょ」	○声は出さなくても舞台上と客席とのやりとり、コミュニケーションは行われている、という事を体感してもらおう。

展開前段―終盤	紙芝居上演 (30分)	体育館で音響、照明、映像を使いな がら紙芝居を上演する。	○客席の児童と一緒に反応を感じ ながら上演する。
まとめ	感想 (2分) クイズの時間 (10分)	上演後は感想を2、3人に言っても らった後、班に分かれて劇団員に海 に関するクイズを児童自らが考え て出題をする。	○劇団員が答えられない問題は、 他の児童に答えてもらう。